

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾磯子		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度が非常に高く、「安心して通えている」「行きたくないと言ったことがない」「自分の居場所になっている」といった声が多数あります。子どもが安心感を持ち、楽しみに通所できている点は最大の強みです。	子どもの特性理解に基づく専門的支援が評価されており、「うちの子に合った対応をしてくれている」との声が多く寄せられています。個別支援計画の作成や説明も概ね適切に行われています。	家族支援の強化。保護者から「家庭への関わり方のアドバイスが欲しい」との声もあり、ペアレント支援の充実が今後の伸びしろです。
2	子どもの特性理解に基づく専門的支援が評価されており、「うちの子に合った対応をしてくれている」との声が多く寄せられています。個別支援計画の作成や説明も概ね適切に行われています。	言語・数・SST・運動など分野をバランスよく取り入れ、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。	安全計画や避難訓練等の取り組みについて、動画活用や面談時説明など“見える化”を進め、家庭への周知を強化することが期待されます。
3	安全管理体制が整っており、マニュアル整備・BCP・ヒヤリハット共有・虐待防止研修など組織的な安全意識が高い事業所です。記録や情報共有も徹底されています。	コドモンや夢通信を活用し、日々の様子や活動内容を丁寧に発信しています。送迎時や電話での共有も行い、保護者との情報連携を大切にしています。	人員補充・体制強化。従業者側からも「人員補充が必要」との意見があり、より質の高い個別支援のための体制整備が求められます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足・職員配置への課題。職員自己評価でも補充の必要性が挙がっています。	人員確保の難しさや勤務形態の制約により、十分なPDCAや会議時間の確保が難しい状況があります。	採用強化やヘルプ体制の構築により、職員負担軽減と支援の質向上を図る。
2	入口の段差や活動スペースの広さなど、物理的環境面の制約があります。特に運動時のスペース不足を感じる保護者意見もあります。	建物構造上の段差やスペース制限により、バリアフリー対応や活動拡張に限界があります。	公園や体育館利用など外部資源の活用により、運動スペース不足を補完する。
3	家族支援プログラムや保護者会の実施が十分ではなく、体系的な家族支援の仕組みが未整備です。	家族支援ニーズはあるものの、職員側も「知識不足」と感じており、専門的家族支援の仕組みが十分に構築されていません。	ペアレント支援の導入検討、参観機会の拡充、面談の充実により「家庭まで支える教室」へ発展させる。